

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第16回）

議事録

令和7年6月10日

官邸4階大会議室

【林内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標推進本部第16回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

議事「持続可能な開発目標（SDGs）に関する自発的国家レビュー（VNR）」について、市川内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【市川副長官補】

資料1「SDGsに関する自発的国家レビュー（VNR）報告書概要」に基づき御説明いたします。

日本が国連に「SDGsに関するVNR」を提出するのは、4年ぶり3回目となります。

資料の2にありますとおり、今回のVNR報告書の特色は、少子高齢化、地方のSDGs推進、防災等、国際社会のモデルとなる日本の取組を取り上げていることです。

また、現在開催中の大阪・関西万博、2027年のGREEN×EXPOといった国際行事についてもコラムで紹介しています。

さらに、政府による評価に加えて、有識者・市民社会・ビジネス等による独立の評価と取組も記載いたしました。

資料の3は、報告書の内容になります。まず、日本はぶれることなくSDGs達成に向けた取組を推進するとの総理の巻頭メッセージを掲げています。

2ページ目を御覧ください。全体的な評価においては、日本の強みとしてSDGsの社会全体への幅広い浸透、多様な関係者の積極的な関与を挙げ、また、目標別にみた進展と課題を記載しています。

続けて、重点事項に沿って日本の取組について振り返り、最後に、今後の方向性を示しております。「誰一人取り残さない」との理念の下、社会課題の解決を成長のエンジンに転換させる取組を強化すること、国際社会に対して、日本は国を挙げてSDGs達成に向けて努力すること、そして、2030年以降の国際的な持続可能性に関する議論及びルール形成においても主導的役割を果たしていくことを掲げています。

以上が説明となります。お配りしている本文のとおり、全体で200ページ弱となっております。以上です。

【林内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、御発言される閣僚を、順次指名させていただきます。

【岩屋外務大臣】

国際情勢が激動の中にある今こそ、対話と協調の外交を展開していくことが重要です。法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持し、強化していく観点からも、引き続き、国際社会と連携し、SDGs 達成に向けた取組を推進していきます。

【浅尾環境大臣】

環境のもたらす恵みを将来世代に引き継ぐため、温室効果ガスネットゼロ、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーが統合された経済社会構造へと変革する取組を推進し、SDGs 達成に貢献してまいります。

【あべ文部科学大臣】

文部科学省としては引き続き、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進により、SDGs が掲げる 17 全ての目標の実現に貢献してまいります。また、SDG4 の主導機関であり、ESD を牽引しているユネスコの活動を、任意拠出金の支出や職員の派遣により支援してまいります。

【坂井国務大臣】

気候変動に伴い国内外で災害が頻発化、激甚化しています。大規模災害の被害を軽減するため、災害対応力の強化や国土強靱化の取組を着実に推進するとともに、防災産業の国際展開などを推進し、SDGs の達成に貢献してまいります。

【鈴木法務大臣】

法務省は、保護司の取組等が盛り込まれた再犯防止国連準則の活用による再犯防止施策の充実を、UNAFEI の研修等を通じて国内外で推進し、法の支配等の価値を国際社会に浸透させ、SDGs の達成に尽力します。

【伊東国務大臣】

地域における地方創生に資する SDGs の取組を推進するため、先進事例の創出と普及展開などを実施します。また、エシカル消費・食品ロス削減、消費者志向経営の推進等、消費者、事業者双方の行動変容を促す取組を進めます。更に、大阪・関西万博における地球的規模の課題解決に向けた「テーマウィーク」を通じて、SDGs 達成やポスト SDGs に向けた取組につなげます。

【辻内閣府副大臣】

AI 法も踏まえ、イノベーション促進とリスク対応を両立した AI の開発・活用を推進し、SDGs 達成に貢献します。またアジア・アフリカ健康構想やインパクト投資も含むグローバルヘルス戦略を省庁横断で進めます。

男女共同参画は横断的に実現されるべきであり、本日決定される女性版骨太の方針を踏

まえた取組を推進してまいります。

こども施策も、こどもの声を聴きながら、大綱に基づき抜本的強化を進めております。

【穂坂デジタル副大臣】

デジタル庁は、地域のウェルビーイング向上に向け、自治体ごとに、暮らしやすさと幸福感を可視化したサイトを公表しています。各自治体によるサイトの活用を進め、分野横断的な政策立案や住民参加型のまちづくりを推進してまいります。

【横山財務副大臣】

財務省は、国際的な SDGs 推進のため、国際機関等を通じて、質の高いインフラ投資、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジなどを推進しており、引き続き取り組んでまいります。

【仁木厚生労働副大臣】

SDGs の達成に向けて、日本に UHC ナレッジハブを設置し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進等を図るとともに、労働者のディーセント・ワークの実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

【古川国土交通副大臣】

国土交通省は、公共交通機関等のバリアフリー化やグリーンインフラの普及など、幅広い分野で取組を進めており、2027 年には GREEN×EXPO 2027 を横浜で開催予定です。こうした取組を通じて、引き続き SDGs の達成に貢献してまいります。

【本田防衛副大臣】

防衛省では、自衛隊機によるウクライナ周辺国への人道支援物資の空輸に加え、国連 PKO 等への司令部要員の派遣やソマリア沖・アデン湾での海賊対処行動などを継続しており、今後も SDGs の取組を推進してまいります。

【西野内閣府大臣政務官】

今回の VNR にもあるとおり、社会課題の解決を成長のエンジンとする新しい資本主義は、日本の SDGs 達成に向けて重要な取組であり、その加速・発展に努めてまいります。

金融庁としては、SDGs の達成に向けて、サステナビリティ開示基準の導入や、脱炭素に向けたトランジション・ファイナンス、社会的課題の解決と経済成長の両立を目指すインパクト投資の推進等に取り組んでいるところです。

【今井復興大臣政務官】

福島県では、再エネ先駆けの地を目指し、浪江町や田村市などで、モビリティや工場の電力などに再エネや水素を活用し、カーボンニュートラルを目指す取り組みが動き出し

ています。

こうした「創造的復興」により、引き続き、東日本大震災からの復興を通じて、SDGsの実現に貢献してまいります。

【川崎総務大臣政務官】

総務省は、デジタルインフラの整備、安全・安心で信頼できるAIの実現、各府省と連携したSDG指標の整備等に取り組んできたところであり、今後もこうした取組を通じ、SDGs達成に貢献してまいります。

【山本農林水産大臣政務官】

農林水産省では、我が国及び世界の食料安全保障の確保に向け、関係各国や国際機関と連携しながら、食料システムを通じたGHG排出削減や海洋汚染・海洋ごみ対策等を行い、農林水産分野の持続可能性の確保に進めてまいります。

【竹内経済産業大臣政務官】

大阪・関西万博は、SDGsが達成された未来社会の姿を描き、取組を更に加速させる絶好の機会です。また、先日、改正したGX推進法・資源法を通じ、脱炭素成長型経済構造への円滑な移行を推進します。

【林内閣官房長官】

他に御発言がないようでしたら、「SDGsに関するVNR報告書」について本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【林内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。
最後に、総理から御発言いただきます。

【石破内閣総理大臣】

本日、日本のSDGs達成に向けた進捗をまとめた3回目となるVNR報告書をSDGs推進本部として決定しました。

国際社会は複合的危機に直面し、2030年までのSDGs達成は大きな困難に直面しています。

こうした中、「人間の安全保障」の理念の下、人間の尊厳が守られる世界を実現すべく、我が国を含む国際社会全体が、SDGs達成に向けた努力を加速していく必要があります。

今回の報告書では、少子高齢化、地方創生、防災といった社会課題への取組を紹介しつつ、課題先進国として、社会課題の解決を成長のエンジンに転換させ、持続可能な経済・社会システムを構築する決意を示しています。日本は、ぶれることなくSDGs達成に向けた取組を進めます。

現在開催中の大阪・関西万博は、SDGsやウェルビーイングが実現された世界を考えるヒ

ントを得る絶好の機会です。2年後にはGREEN×EXPO 2027も控えています。こうした国際行事を契機として、世界の人々の英知を集約し、SDGs達成に向けて国際社会との連携を強化していきます。

関係閣僚におかれては、今回のVNR報告書にとりまとめた取組や課題を踏まえ、あらゆる関係者との協力を深めながら、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取組を一層加速していくよう、よろしくお願いいたします。

【林内閣官房長官】

以上をもって、持続可能な開発目標推進本部第16回会合を終了します。